

港区まちづくり マスタープラン

意見交換会ニュース vol.1

台場地区

令和7年8月

台場地区で意見交換会を開催しました

社会経済状況など、港区を取り巻く環境が大きく変化していることから、区では「港区まちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定に当たっては各地区(芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区)で意見交換会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。令和7年7月14日には、台場地区の意見交換会を開催しました。



まちづくりマスタープランとは

港区のおおむね20年後を見据えた、まちの将来像、まちづくりの方針や取組等の考え方を示す計画です。都市計画に関する土地利用や道路・公園の整備などハード分野を中心に、防災、環境、国際化、観光、福祉、子育て、環境、文化、健康増進など幅広くソフト分野の視点を取り入れて、まちづくりの方向性を示します。

区民意見交換会

区民意見交換会は、地域の実情等をお聞きするとともに、地域の魅力・地域が抱える課題や将来ビジョンについてお伺いし、把握することを目的に開催します。ご意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランにつなげていきます。次回意見交換会は、12月頃に開催予定です。



当日は、区より、マスタープランの概要や地区の現況等について紹介の後、「地区の魅力」「地区の課題」について意見交換しました。主な意見を次頁にまとめています。

当日の主なご意見

— 台場地区の魅力と課題について、ご意見をいただきました —

土地利用・活用

にぎわいづくりが課題

- 台場地区は連休、土日は活気があるが、平日は閑散としている。
- お台場には商店街(クリニック:薬局、床屋、コンビニ、居酒屋)はあるが、芝浦・麻布地区ほど魅力がない。外から来た人も飲食できるような商店街が地域のシンボルとしてあるとよい。
- 東京テレポート駅周辺の広大な広場のエリアは開発の余地があるように感じる。

閉鎖的に感じる都市空間

- オープンな地域ではあるが地理的に孤立し閉鎖的と感じる。

道路・交通

交通安全に不安がある

- 道路は広いが、自転車やスクーターの専用道がない。車を運転していて、道路上に自転車が急に出てきて危険な時がある。
- 交通渋滞を改善してほしい。

交通アクセスの利便性向上が必要

- 台場地区から羽田空港へのアクセスが外国人にはわかりにくい。
- 羽田空港等につながる観光周遊バスがあると良い。
- お台場と芝浦アイランドをつなぐタクシー乗り場があるとよい。

緑・水

海浜公園が魅力

- お台場海浜公園がいつも清掃されていて安心して子どもと遊べる。
- 海浜公園に自由さが足りない。子どもが騒ぐと文句を言われる。
- おだいばビーチの利用できる日数を増やしてほしい。
- 春は台場エリア全体で桜をみられることが地域の魅力である。

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

生活利便施設が不足している

- 地区内には病院が少ない。
- 地区内での買い物が不便で、豊洲に行って買い物をしている。
- スポーツジムがない。

防犯対策が必要

- 台場地区に交番はあるが設置場所がよくない。おだいばビーチ側の住民が住んでいるマンションの方に治安を守れる交番を設置してほしい。
- 台場学園沿いでは暴走族による騒音があることなど治安に課題がある。
- 花火大会時などは、若者がスーパーでたむろしていてゴミ捨てなどのマナーが悪い・深夜に騒ぐなど迷惑である。

教育のための施設が少ない

- 子ども向けの教室が少ない。有明、晴海にはたくさんの教室がある。
- グローバル化が進んでいるのに、教育が昭和のままである。
- 最近は外国人の子育て世代が台場地区から晴海に引っ越す人が多い。

国際化・観光・文化

観光振興が課題

- 観光客が多いので、観光客対応のインフォメーションセンターがほしい。
- チームラボプラネットは早朝から夜まで列が絶えないためお台場とつなぐと観光の周遊ルートになる
- 良いホテルがある
- ゆりかめもの駅からおだいばビーチに行くアクセスで迷っている人が多い。

国際対応が課題

- 区民センターを外国人交流の場所としてほしい。

